

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭62-20922

⑬ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和62年(1987)2月7日

B 60 K 15/02
B 65 D 6/28A-8108-3D
6564-3E

審査請求 未請求 (全3頁)

⑮ 考案の名称 車両用プラスチック製燃料タンク

⑯ 実 願 昭61-89188

⑰ 出 願 昭61(1986)6月11日

優先権主張 ⑱ 1985年6月11日 ⑲ イタリア(I T) ⑳ 53491-B/85

㉑ 考 案 者 アツチリオ ダル バ イタリア国、10098 リボリ、ストラダ スオバ テツチ
ル イ、110/5㉒ 出 願 人 フアブリカ イタリア イタリア国、10122 トリノ、ヴィア セルナリア、38
ナ セツラチュラ ト
リノーファスト エッ
セ・ピ・ア

㉓ 代 理 人 弁理士 古谷 史旺

㉔ 実用新案登録請求の範囲

- (1) 少なくとも2個の射出成形シエル3, 4を備え、シエル3, 4を接続部分5に沿って密封状態で固着したことを特徴とする車両用プラスチック製燃料タンク。
- (2) 上記接続部分5上に外側ストリップ6を成形し、それにより上記シエル3, 4を密封状態で互いに固着したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の車両用プラスチック製燃料タンク。
- (3) 上記シエル3, 4に互いに重なり合う外縁部7, 8を設け、それらの外縁部7, 8に上記ストリップ6を成形したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第2項記載の車両用プラスチック製燃料タンク。
- (4) 上記シエル3, 4を連結する上記部分5に、上記ストリップ6の一部を通す開口17を形成したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第2項または第3項記載の車両用プラスチック製燃料タンク。
- (5) 上記ストリップ6をプラスチック材料で形成したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項乃至第4項のいずれかに記載の車両用プラスチック製燃料タンク。
- (6) 上記シエル3, 4を連結する上記部分5の間にシール10を介装したことを特徴とする実用

新案登録請求の範囲第1項乃至第5項のいずれかに記載の車両用プラスチック製燃料タンク。

- (7) 上記シエル3, 4と一体かつ直接的に開口28および/または外部パイプ26を成形したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項乃至第6項のいずれかに記載の車両用プラスチック製燃料タンク。
- (8) 上記シエル3, 4の内部に強化リブ19および/または燃料揺れ防止壁部20, 30, 32, 33を形成したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項乃至第7項のいずれかに記載の車両用プラスチック製燃料タンク。
- (9) 燃料レベル検知ユニット29および/または電気吸入ポンプを收容するようにした内部区画室に対して、上記壁部32, 33で迷路部を形成したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第8項記載の車両用プラスチック製燃料タンク。
- (10) 上記シエル3, 4に、両者を互いに接合した状態において、互いにフック状態で係合する内部部分21, 24を設けたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項乃至第9項のいずれかに記載の車両用プラスチック製燃料タンク。
- (11) 上記シエル3, 4でそれぞれ上記タンク1の上部と底部を構成したことを特徴とする実

用新案登録請求の範囲第1項乃至第10項のいずれかに記載の車両用プラスチック製燃料タンク。

(12) 上記シエル3, 4に組込み式の内部強化要素を設けたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項乃至第11項のいずれかに記載の車両用プラスチック製燃料タンク。

(13) 上記シエル3, 4をナイロンで形成したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項乃至第12項のいずれかに記載の車両用プラスチック製燃料タンク。

図面の簡単な説明

第1図は本考案による燃料タンクの平面図、第

2図は第1図のII-II断面図、第3図は第2図のタンクの部分Aの断面拡大図、第4図は製造工程の途中における第2図のタンクの部分Bの断面拡大図、第5図は第2図のタンクの内面部分の部分図、第6図は第5図のVI-VI断面部分図、第7図は本考案による別の実施例のタンクの断面部分図、第8図は第7図の部分のVIII-VIII断面図である。

1……燃料タンク、3, 4……シエル、5……接続部分、6……ストリップ、7, 8……外縁部、10……シール。

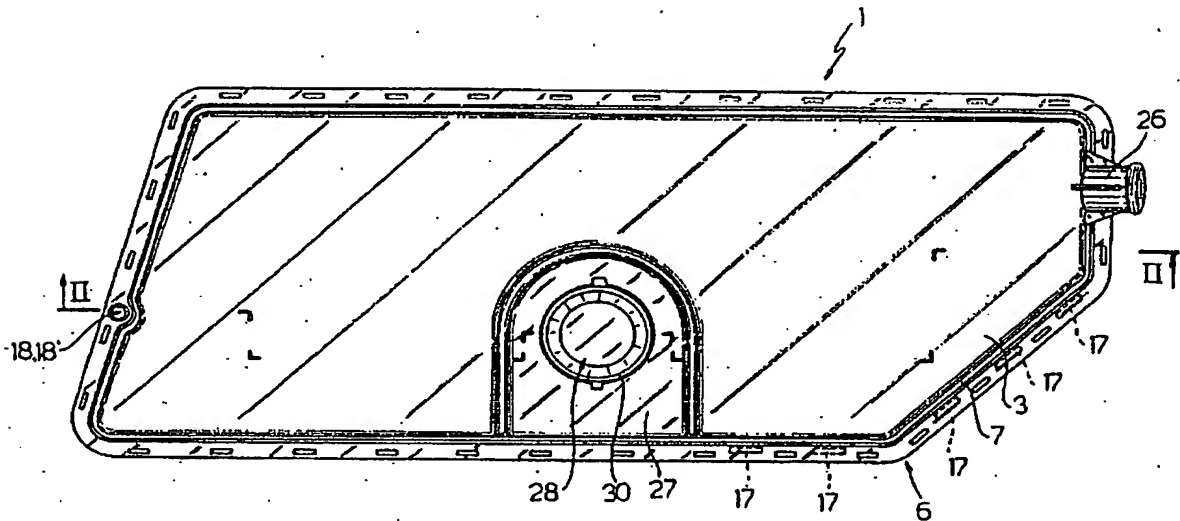


Fig.1

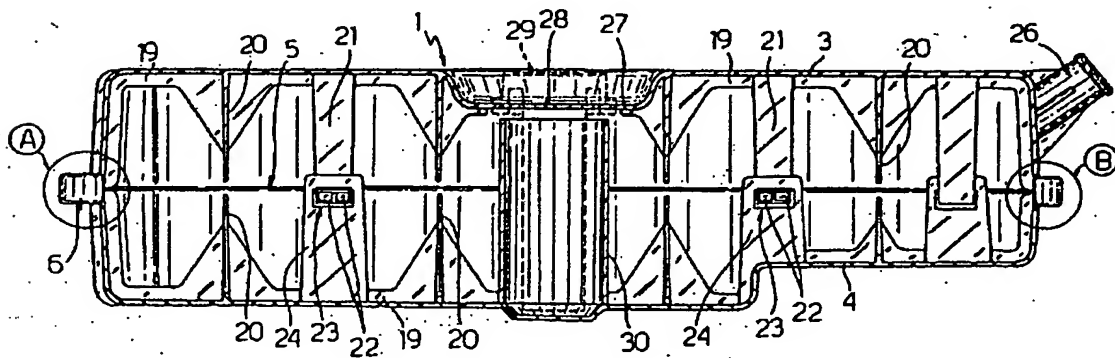


Fig.2

